

各 位

上場会社名 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 齋藤 貴  
 (コード番号 9836)  
 問合せ先責任者 取締役 経理財務統括部長 角井 満信  
 (TEL 03-5785-5600)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,700	△400	△360	△2,025	△69.99
今回修正予想(B)	9,700	△150	△100	△1,750	△60.48
増減額(B-A)	0	250	260	275	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	9,190	△1,242	△1,154	△1,609	△55.64

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,400	△405	△2,065	△71.37
今回修正予想(B)	9,400	△145	△1,790	△61.86
増減額(B-A)	0	260	275	
増減率(%)	0.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	8,905	△1,253	△1,711	△59.15

#### 修正の理由

平成24年8月31日の「特別損失(減損損失)の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に対して、第3四半期累計期間の業績が改善しましたので通期業績修正をいたします。  
 主な要因として、第3四半期においても引き続き付加価値の高い高価格帯のコア商品の販売に注力し、過剰在庫の一掃により、予想より高い売上総利益率となり売上総利益が改善したためです。これに加えて、販売費及び一般管理費の更なる削減努力により営業利益及び経常利益が改善しました。このため、第4四半期の見通しを見積もっても通期では営業損失、経常損失は大きく減少し業績は改善する見込みです。

以 上